【教会の祈り】

11 月 15 日（年間第 32 土曜日）

(任)聖アルベルトゥス・マニュス司教教会博士

- 朝の祈り -

初め

司：神よ、わたしを力づけ、

答：急いで助けに来てください。

司：栄光は父と子と聖霊に。

答：初めのように 今も いつも 世々に。

　　アーメン。　アレルヤ。

賛歌（省略）

第一唱和

詩編 92　創造主への賛美

あなたがたが多くの実を結び、わたしの
弟子として あらわれることによって、
わたしの父は栄光をお受けになる
（ヨハネ 15・8）

先：神よ、あしたに あなたのいつくしみを
　夕べに まことを のべ伝える。

　神よ、すべてを越える あなたの名をたたえ、
　あなたに感謝をささげることは すばらしい。
　あしたに あなたのいつくしみを、
　夕べに まことを のべ伝え、
　たて琴をかなで、楽の音に合わせて
　わたしは あなたを ほめ歌う。

　神よ、あなたのわざは わたしを喜ばせ、
　あなたの造られたものを わたしはたたえる。
　神よ、あなたのわざは偉大、
　その思いは はかり知れない。
　心の鈍い者には わからず、
　愚かな者には悟れない。

　あなたに逆らう者が 草のように はびこり、
　不法を行なうすべての者が栄えても、
　かれらは あとかたもなく滅びさる。
　神よ、すべてを越えて あなたは偉大。
　見よ、あなたに はむかう者は滅び、
　不法を行なう者は すべて散らされてゆく。

　あなたは わたしの頭を野牛の角のようにあげ、
　わたしに新しい油を注がれた。
　わたしは敵の滅びを見、
　悪を行なう者の悲鳴を聞いた。

　神に従う人は なつめやしのように栄え、
　レバノンの杉のように そびえる。
　神の家に植えられた人は、
　わたしたちの神の庭で栄える。
　年を経ても なお実を結び、
　いつも いきいきと おい茂る。

　こうして神の正しさが のべ伝えられる。
　神は わたしの岩。神には いつわりがない。

栄：栄光は、父と子と聖霊に、
　初めのように 今も いつも 世々に。
　　アーメン。

第二唱和

旧約の歌（エゼキエル 36・24－28）

神は かれらと ともに住み、かれらは
その民となる（黙示録 21・3）

先：わたしは おまえたちのうちに
　新しい心を与え、新しい霊を授ける。

わたしは おまえたちを諸国の民の間から
　連れ出し、
すべての国々から集め、先祖の地に連れて行く。
わたしは清い水をふりかけ、
おまえたちは すべての汚れから清められる。

わたしは すべての偶像の汚れから清め、
おまえたちのうちに新しい心を与え、
　新しい霊を授ける。
わたしは石の心を取り除き、
愛の心を おまえたちに与える。

わたしの霊を授け、
おきてに従って歩ませ、定めを守り行なわせる。
おまえたちは、先祖に与えられた地に住む。
おまえたちは わたしの民、
　わたしは おまえたちの神となる。

栄：栄光は、父と子と聖霊に、
　初めのように 今も いつも 世々に。
　　アーメン。

第三唱和

詩編８　神の栄光と人間の誉れ

神は　いっさいのものをキリストの
足もとに従わせ、すべてのものの上に立つ
かしらであるキリストを、教会にお与えに
なった（エフェソ１・22）

先：幼な子と乳飲み子は賛美を歌う。

神よ、わたしたちの主よ、
あなたの名は あまねく世界に輝き、
その栄光は天にそびえる。
幼な子と乳飲み子は賛美を歌う。
あなたは はむかう者、
　逆らう者をしずめるため、
敵に備えて とりでを築かれた。
あなたの手で造られた大空を仰ぎ、
月と星を ながめて思う。
人とは何者か、なぜ、人に心を留められるのか。
なぜ、人の子を顧みられるのか。

あなたは人を神に近いものとし、
栄えと誉れの冠を授け、
造られたものを治めさせ、
すべてを その足もとに置かれた。
羊も牛も ことごとく、
野のけもの、空の鳥、潮路を泳ぐ さかなの群れも。

神よ、わたしたちの主よ、
あなたの名は あまねく世界に輝く。

栄：栄光は、父と子と聖霊に、
　初めのように 今も いつも 世々に。
　　アーメン。

《以下、省略》